

署長 雑感

地域の方々に認められるために

レクリエーションの森から国有林を知ってもらおう



網走中部森林管理署
署長 洞下 健一

を除去しました。

このほか、さまざまな行事に少しずつですがかかわっています。

みな少人数の活動ですが、国有林という存在、その魅力や働きなどを地域の方に知っていただく機会として重要だと思っており、さらに、これから何ができるのかと、日々考えているところです。

くすことではないかと思っ
ています。

そういうことを考えた

鈴の国有林野を管理して
います。地域の総面積に占め
る国有林の割合は五割弱。
しかし、その存在感はと言
うと、どうも…というのが
正直な感想です。

前任地でもそうでした
が、森林管理署での私の一
番の役割は、まず第一に、
地元には国有林という森が
あって、その森は森林管理
署というところを守り育て
ているということ、でき
るだけ多くの方に知って
いただくこと。次に、国有林
にはさまざまな魅力や働き
があって、地域にとっ
てよいもの、ひいては、
なくてはならないものとい
うことを、一人でも二人で
も多くの方にご理解いた
だくこと、このために力を尽



幌岩山からサロマ湖方面の展望（佐呂間町）

網走中部森林管理署は北
見市、置戸町、佐呂間町の
一市二町に広がる約十一万



ワッカ原生花園と造成した防風林（北見市）

きに、やはり一番分
かりやすい材料は、レクリエー
ションの森、保護林、緑の回
廊といったものではないか
と思います。

当署の管内には、置戸町
に鹿の子沢風景林、佐呂間
町・北見市にサロマ湖畔自
然休養林などがあります。
これらの森は、新緑、紅葉、
巨樹、お花畑、滝、眺望と
いった魅力を備えており、
また、森の働きの
最たるものである
水を育む働きを実
感できます。

こうした森を舞
台にした活動の一
例として、サロマ
湖畔では、今年、
地域の方々ととも
にハマナスの枯枝



鹿の子沢 虹の滝（置戸町）